

野草園の主な催し物 スナップ



主な催し(8月~11月)

- ガイドウォーキング 毎週日曜日
- 自然工作コーナー 8月1日(日)~22日(日)
- 親子草花遊び 8月7日(土)
- 木工工作教室 8月14日(土)
- ポタニカルアート作品展 8月29日(日)~9月12日(日)
- 四季観察会 9月18日(土)、10月16日(土)、2月20日(日)
- 紅花染め 9月23日(木)
- 星空を見る会 10月2日(土)
- 秋の野草園祭り 10月9日(土)~10月11日(月)
ミニSL運行、ポニー乗馬体験
野草園オリエンタリング
木工工作教室、餅つき大会
- きのこ写真展 10月9日(土)~10月24日(日)
- 植物観察ときのか鍋 10月17日(日)
- 落ち葉たき 10月30日(土)、11月6日(土)
- 写真コンテスト入賞作品展 11月2日(火)~11月23日(火)
- プリザーブドフラワー教室 11月9日(火)

●開園時間等

- ・開園時間
4月~5月 9:00~16:30
6月~8月 9:00~18:00
9月~11月 9:00~16:30

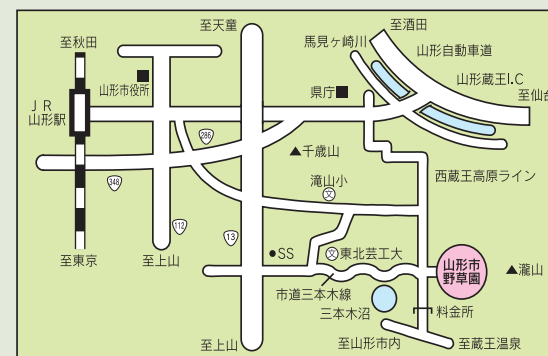
- ・休園日/毎週月曜日
ただし、月曜日が祝日・休日の場合はその翌平日

- ・冬期間休園/12月~3月

- ・入園料
大人/300円
高校生以下無料
団体割引(20人以上の場合)
大人/240円
高校生以下無料

●交通案内

- ・JR山形駅より山形交通路線バス西藏王・野草園行き終点下車
- ・山形自動車道蔵王ICより西藏王高原ラインを蔵王温泉方面へ15分
- ・滝山小、芸工大方面より岩波経由又は、ヒルズサンピア方面より市道三本木線経由で自家用車15分



山形市

野草園だより

39号



シンボルマーク
原画 阿部功雲氏

野草園では季節の花々を楽しんでいただくために、ガイドウォーキングを行っています。毎週日曜日、午前10時からと午後1時からです。植物ボランティアガイドの人たちが案内をしています。季節ごとに多くの花々が咲きますので、その時の見頃の花を中心にして案内するようにしています。ガイドウォーキングに参加していただければ、今まで知らなかった花の名前はもちろんのこと、花についていろんなことを知ることができます。ボランティアガイドの人たちは、草花の他、樹木や動物に詳しい人もいますので、参加していただいた人々には大変好評です。花々を観察しながら、樹木や動物などに関しても知識を広げることができます。お一人からでも案内しますのでどうぞお気軽に参加してください。

野草園だより

編集・発行/山形市野草園



39号/平成22年7月発行

〒990-2406 山形市大字神尾832番地の3

TEL 023(634)4120・FAX 023(634)4121

◀野草園のホームページ▶
<http://www.yasouen.jp>

夏から秋にも多くの花々が出番を待っています。



オタカラコウ キク科

メタカラコウに比べて花びらが多くあり、強そうに見えます。



クルマユリ ユリ科

葉が車輪のようで、亜高山にも生えています。



ナツエビネ ラン科

夏に花を咲かせるエビネです。



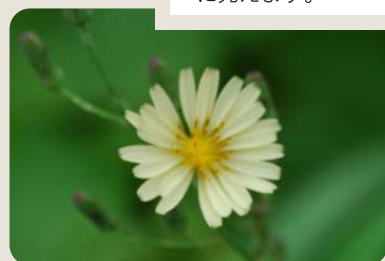
オケラ キク科

魚の骨が花を囲んでいるように見えます。



シオン キク科

ユリ科の忘れ草に対して花言葉は「君を忘れず」です。



アキノノゲシ キク科

いたるところで見られるノゲシのなかまで、秋に咲きます。



ウゼントリカブト キンボウゲ科

毒草の王様で、蔵王山の山形県側で最初に採集されました。



シラヤマギク キク科

茎や葉はざらざらして、花びらの数が少ない。



キツネノカミソリ ヒガンバナ科

葉の形が狐の剃刀のようで、有毒です。



キツリフネ ツリフネソウ科

帆かけ船をつり下げたように見える黄色い花です。



ナギナタコウジュ シソ科

花が一方向きに咲いているのがなぎなたに似ています。



タチフウロ フウロソウ科

高さ60センチ位になり、茎は直立します。



エブリンドウ リンドウ科

花つきがよいため、園芸品種として栽培されています。



アケボノシュスラン ラン科

花の色を朝の空の色にたとえたものです。



ジュウガツザクラ バラ科

10月に開花して、冬は休んでまた春に開花します。



ヒメヒゴタイ キク科

ヒゴタイに比べて小形ですが、本種もきれいです。



ダイモンジソウ ユキノシタ科

花びらは、上の3枚は小さく下の2枚は大きく、大の字に見えます。

自然のたくみさ・ふしぎさ

他の生物から 栄養をもらっている植物

野草園では、時々見たこともないような植物に出会います。オニノヤガラ、アキノギンリョウソウ、ナンバンギセル、ホザキヤドリギなどです。これらはいずれも、他の生物から栄養をもらっている植物です。



異様な姿のアキノギンリョウソウ



パイプに似ているナンバンギセル

ヤドリギ科のホザキヤドリギは落葉小低木で、葉緑素を持ちながら、他の樹木に半寄生します。野草園ではコナラに寄生しています。

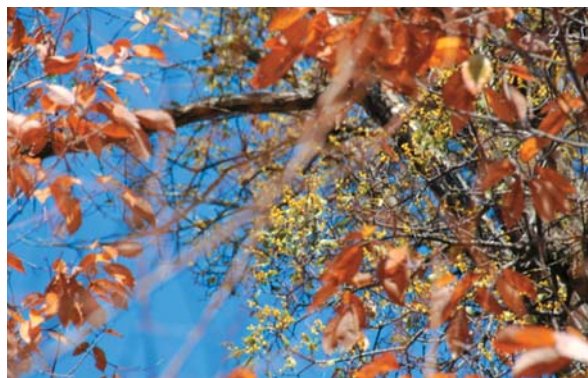
他の生物から栄養をもらっている植物のいろいろでした。



神出鬼没のオニノヤガラ

オニノヤガラはヌスビトノアシとも言われているラン科の植物です。野草園では、神出鬼没でどこに出てくるのか検討もつきません。しかし、ここ2年ぐらいは6月頃に見つけることができました。本種は葉緑素を持たなく、ナラタケ菌から養分をもらって成長します。同じくイチヤクソウ科のアキノギンリョウソウも地中の菌から栄養を得るため、光合成のための葉を欠き、全体が透明感のある白色をしています。ギンリョウソウは初夏に花が咲いて、水分の多い果実で、その年になくなりますが、本種は夏から秋にかけて咲き、乾いた果実で、次の年まで残ります。

ハマウツボ科のナンバンギセルは、ススキの根に自分の根をくい込ませて養分を吸収して成長します。やはり葉緑素をもたなく寄生し生活をします。



コナラに半寄生しているホザキヤドリギ

園長日記

野草園の 魅力づくり



野草の丘でマルバノイチヤクソウを見つけました。葉が丸いのでベニバナイチヤクソウかと思っていたのですが、花が咲いてみてマルバノイチヤクソウだとわかりました。園内にはないと思っていた植物です。季節毎に多くの花々が咲きますので、その時期を逃してしまうと、めあての花に出会えないことになります。今回、この花に出会えたことは大きな収穫です。今年は園内をくまなく歩きながら、多くの植物と出会い、元気に育っていることを見届けたいと思っています。生き生きした花々を育てることが、野草園の魅力づくりになるからです。

●ヤマハギ

花が葉のわきから長く出ています。

●ネコハギ

地面をはう茎に小さい白色の花をつけます。

●ツクシハギ

別名ニッコウシラハギです。

●ミヤギノハギ

萼弁が翼弁より長く鎌状に曲がります。

植物ウォッチング

野草園には
いろんなハギがあります

●マルバハギ

花が葉より短く、くっついていようです。

●シラハギ

古くから人家に植えられています。

●イヌハギ

白色に赤の模様がきれいです。

●キハギ

紫色の斑点のある白色の花をつけます。